

富津市立保育所自己評価書

(佐貫保育所)

- A → 大変よい
- B → よい
- C → 一部検討を要す
- D → 改善を要す

評価期間 令和7年4月～令和8年2月

令和8年3月

項目	内 容	評価 A. B. C. D	評価の根拠・改善策等
生命の保持・健康	家庭との連携を密にし、嘱託医との連携を図りながら、子どもの疾病や事故防止に関する認識を深め、保健的で安全な保育環境の維持及び向上に努めている。	A	家庭や嘱託医との連携を密に行い、子どもの健康状態や生活環境を把握しながら、安心して過ごせる保育環境の維持に努めている。子どもの気づきや発想、興味関心を大切にしたい関わりを心掛け、保育に取り入れることで、様々な活動に親しみ、楽しみながら意欲的に取り組む姿が見られる。
	愛情豊かな受容の下で、安定感を持って生活し、食事や午睡、遊びと休息など、快適な生活のリズムが形成されている。	A	
	様々な活動に親しみ、楽しんで取り組んでいる。	A	
人間関係	子どもたちが保育士等に思いや行動を受け止めてもらい、応答的な関わりの中で、安定感をもって過ごせている。	A	日々の生活や遊びの中で、一人ひとりの気持ちに寄り添い、丁寧な関わりを大切にしている。子どもが、安心して自分らしさを表現し、友達や保育士との関わりを楽しめるように環境や関わりを工夫している。また、異年齢の関わりを通して、様々な活動を共に経験する中で、ごっこ遊びにつながったり、思いやりや憧れの気持ちが育まれている。集団生活の中での決まりについては、個人差に配慮しながら、一方的に伝えるのではなく、子ども同士で考え合える関わり
	生活や遊びの中で、身近な人への関心をもち、真似をしたり、ごっこ遊びを楽しめるようにしている。	A	
	自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付くよう促している。	A	
	生活や遊びの中で決まりの大切さに気付き、守ろうとする意識が育つよう援助している。	B	

			を大切にし、理解が深まるように丁寧に関わっている
環境	安全で活動しやすい環境の下で探索活動を通して五感の働きを豊かにする機会を作っている。	A	毎月、遊具や園庭の点検を行い、安全に配慮した環境に努め、子どもが安心して、活動できる環境作りを行っている。身近な素材や自然との関わりを通して、子どもの気づきや発見を大切にしながら、遊びの広がりにつなげている。探索的な遊びの広がりには、個人差がある為、子どもの姿に応じた環境構成を工夫している。また、散歩や当番活動を行う中で、数や文字、標識等への興味関心が育まれている。
	生活や遊びの経験を重ねながら、形、色、大きさ、量、音などの物の性質に気付くよう働きかけている。	A	
	自然に触れて遊ぶ中で、その大きさ、美しさ、不思議さなどに気付く機会を作っている。	A	
	日常生活の中で、数量や図形、標識や文字などに関心をもつよう心がけている。	B	
言葉	保育士等の応答的な関わりや話しかけにより、自分の要求や気持ちを伝えられるよう配慮している。	A	保育士が一人ひとりの気持ちや要求に丁寧にに関わり、肯定的に受け止めることで、子どもが安心して自分の思いを言葉で伝えようとする姿につながっている。絵本の読み聞かせや貸し出し絵本を通して、言葉に親しむ機会を大切にし、劇遊びへと発展したり、絵本の言葉を真似したりして楽しむ姿が見られた。友達や
	絵本や紙芝居を楽しみ、簡単な言葉を繰り返したり、模倣したりして言葉の感覚が豊かになるよう働きかけている。	A	
	保育士等や友達の言葉や話に興味や関心をもち、親しみをもって聞いたり、話したりできるように配慮している。	A	

	生活の中で必要な言葉の意味や使い方を知ることができるよう心がけている。	A	保育士の話に耳を傾けながら、やり取りを楽しむ姿も育ってきている。生活の中では、場面に応じた言葉掛けを行い、必要な言葉を実体験と結び付けて使えるように関わっている。
表現	水、砂、土、紙、粘土など様々な素材に触れ諸感覚を使い楽しむ機会を作っている。	A	季節ならではの遊びを十分に楽しめるように、遊ぶ時間を確保し、子どもがのびのびと表現できる環境作りに努めている。心地良い季節には、裸足で砂や水、泥の感触を楽しみ、寒い季節には、氷や霜に触れたり、観察したりする等、実際に肌で感じる経験を大切にしている。リズムでは、ピアノに合わせて体を動かし、表現する心地良さを味わえるように工夫し、保育者も子どもと共に楽しみながら関わっている。
	音楽に合わせて体を動かすことの楽しさを味わう機会を作っている。	A	
	生活の中で様々な音、形、色、手触り、動きなどに気付いたり、感じたりするなどして楽しむよう働きかけている。	A	
	生活の中で、保育士等や友達と感動を共有することや伝え合う楽しさを味わえるよう心がけている。	A	
保護者への支援	一人ひとりの保護者と、日常的な情報交換に加え、個別面談などの機会を作っている	A	日々の送迎時のやり取りやキッズダイアリーを通して、保護者と子どもの様子を共有し、信頼関係の構築に努めている。保育参加の際には、面談を実施し、必要に応じて個別
	家庭状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	A	

	保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、迅速に対応している。	B	に話を聞く機会を設けている。家庭状況や保護者からの情報等は、児童票や日誌に記録し、職員間で共有しながら、日々の保育に活かしている。
行事	行事のねらいを計画や実施に十分生かしている。	A	行事の実施にあたっては、子どもの主体性を大切にし、子どもの意見や思い、興味関心を取り入れながら内容を工夫している。行事ごとに企画書を作成して実施し、計画的に実施すると共に実施後は、職員間で振り返りを行い、内容の見直しや改善を行いながら、次の保育や行事につなげている。
	保護者の願いや意見を取り入れている。	B	
	計画・実施・評価・改善の体制をとっている	A	
その他	乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っている。	A	個人情報に関する書類は、指定された場所で保管している。知り得た情報については、守秘義務を遵守し、漏洩防止に努め、徹底した管理を行っている。ドキュメンテーションを通して、日々の保育の様子を伝えたり、感染症に関する情報は、随時知らせる等、感染拡大防止に努めている。定期的に園内研修も実施しているが、今後は、内容の充実を図
	園内研修を実施している。	B	
	掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している。	A	

			りながら、職員の意識向上につなげていく。
--	--	--	----------------------